

# こころる便り

第242号

令和2年5月

〒679-1434  
兵庫県たつの市新宮町大屋六六ハ一十二  
株式会社新宮運送グループ  
代表/木南 一志  
kinhnan@sinogu.co.jp  
電話 079-1175511 212



新宮運送ホームページ

## 一掃する

国民の命を守るために、寝る時間もなく対応く  
ださっている医療関係者の皆さま、そしてご家  
族、また、生活支援のために感染の危険性を承知  
の上で販売にあたってくださった皆さま、そ  
の陰で支えている私たち物流現場の皆さまにも  
心より感謝いたします。

春の一番いい季節になりましたが、今年は外出  
自粛でこれまでにないゴールデンウィークとな  
っています。多くの人がTVを通じて親しんで  
きた志村けんさん、岡江久美子さんという方々が  
亡くなってしまいました。このウイルスは治療法  
が確立されていないので、不安はより増幅されて  
いきます。しかし、インフルエンザでも同じよう  
に亡くなる人はたくさんおられます。それでも  
不安に感じてこなかったのは、治療法や薬が開発  
されているからです。突然に容体が急変して重  
篤化するという事態を前に医療現場ではどれほ  
ど辛いことがたくさんあるだろうと思います。

かつてない対応を迫られて安倍総理を先頭に  
リーダーシップが問われる事態となりました。  
各国それぞれの対応の違いはありますが、私は日  
本人としていかにあるべきかを問われていると  
感じてきました。マスクミミに惑わされて批判ば  
かりに終始せず、大切なことは何か、そして、これ  
を機会に何を変えるのかを決意することであると  
考えています。

政府の対応は、法律の整備やネットワーク環境の  
整備が遅れていることから、後手に回りました。  
今までの制度を活用して緊急事態に対応しよう  
とするわけですから、手続きばかりがややこしく  
て即効性がない。国民の共感を得られないとい  
うものになってしまいました。声の届かない弱  
者のことは二の次となり、平等にという権利主張  
の10万円支給となっています。

また、近隣の北朝鮮の変化、韓国の選挙結果が  
共産主義をめざしてしていることや、中国がWH  
Oへ巨額の資金提供をすることで世界権力を得  
ようとしている現状を、わが師である鍵山相談役  
はどう憂えておられるかをお聞きしました。

下記のハガキの通り、困窮する母子家庭などの  
弱者への支援や今回の武漢ウイルスでも大きな  
成果を上げた台湾や親日の国々と手を組んで、世  
界平和を考えて行動しなくてはならないと示し  
てくださいました。

国民がしっかりと政治に意見具申をして、旧来  
の仕組みを一掃していかなければ、我が国の進む  
方向は変えていくことはできません。

未来の日本を引き継いでくれる子供たちのた  
めにも、素晴らしい国、美しい国としてバトンを  
渡さなくてはなりません。まずは、私たち一人ひ  
とりが厳しい現実の中ですが、毎日をしつかりと  
歩んでまいりましょう。

被災地にこころを寄せながら

木南 一志 拝

NP法人 愛ランド様の協力で障害を持つ皆さんが宛名貼り、  
封入作業をしてお届けさせていただいております。

木南一志様 2.4.16  
拙著にお目を留めていただき  
まして、嬉しく思います。  
武漢ウイルスは卑劣極まりない  
中国の国柄を浮き彫りにしました。  
このような国にまだ騙され続けて  
尻尾を振ってすり寄るばかりで  
政・官・経済界に呆れるばかりです。  
このような国とは国交を断つて  
台湾と国交を回復すべきだと  
思います。 鍵山秀三郎 拝

木南一志様 2.4.23  
全国民に各々10万円、なんと  
愚策を實施するのではありません。  
母子家庭のように常日頃から  
困窮している人たちに集中して  
配布すべきでしょう。  
公務員は対象外にすべきです。  
日本はこれから親日国とだけ  
密接して、お互いに助け合っ  
ていくことが大切です。 鍵山秀三郎 拝